

大地

NO,255

日頃よりありがとうございます。3月も残り僅かとなりましたが、こちらは雪解けも進み、田んぼもほとんど姿を見せるようになりました。東京では過去最も早く桜の開花が発表されたようですね。全国的にも平年より早く開花する予想とのことでしたが、それだけ今年はや暖かい日が多かったのかもしれませんが。しかしながら長かった今年の冬も、もう少しです。



そして私共も、雪解けと共に令和5年産の米作りが始まろうとしています。今月下旬頃には種子の消毒や育苗の為の土作りを行う予定です。近年の物価高騰の中、農業資材もほぼ全てにおいて高騰していますが、生産工程を見直す良い機会と捉え、これまで以上に資源循環型農業に取り組んでいきたいと思ひます。また、今年も特別栽培米(農薬、化学肥料5割以上減)の申請を致しました。今年も安全・安心はもとより、おいしいお米作りに頑張りたいと思ひます。

マスクの着用も個人の判断を基本とし原則不要となるなど緩和されてきました。少しずつ以前の生活に戻ってきているように感じますが、油断せず感染対策を忘れずしていきたいと思ひます。

季節の変わり目でもありますのでお体崩されませんようどうぞお体ご自愛ください。今後共どうぞよろしくお願い致します。



自家産のぼかし肥料を作っている様子です。もみ殻に液肥や米ぬかを間に敷きこみながら1週間に1回ほど攪拌して、発酵させていきます。もみ殻は分解しにくい欠点がありましたが、こうして堆肥化することで稲にとって重要な窒素、ケイ酸分を補うことができます。これまで以上に手間はかかりますが農業資材の高騰もあり地域資源の有効利用を見直してみました。



こちらは冬期間の作業として、くん炭を作っているところです。育苗の際、培土と一緒に混ぜることで根の張りが良くなり、軽量化にもなります。また、これまで使用してきた資材の代替えとして使えるため低コストにもつなげたいと思ひます。

令和4年 3月 17日 飯豊米ネットワーク あさの